

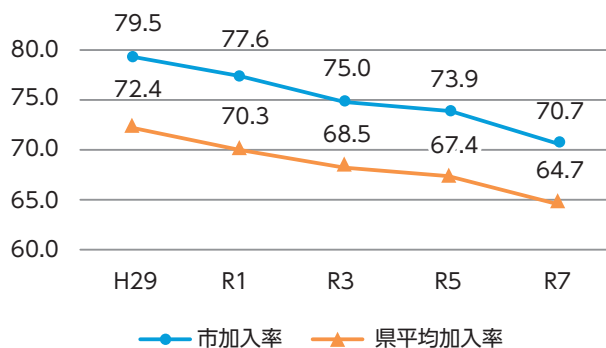
大項目
3

みんなが
魅力と実力を認識し
交流を広げながら楽しく暮らす
「誇れるまち」

現状と課題

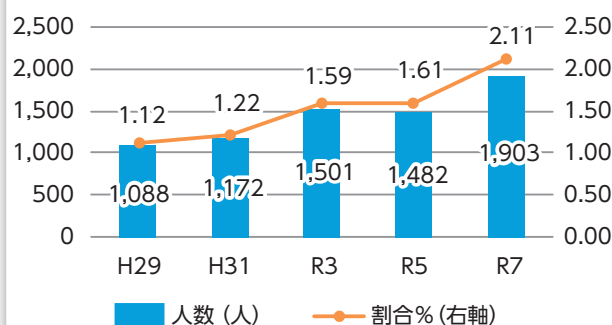
- ・平成24年に自治基本条例※を制定し、市民自治を基本としたまちづくりを推進しています。
- ・核家族化や生活様式の変化に伴い、地域社会におけるコミュニティ意識の希薄化が課題となっています。
- ・地域を支えるコミュニティ組織の担い手不足等により、地域活力の低下が懸念されます。
- ・多様化する地域課題等に対応するためには、住民・地域団体・NPO・企業・行政などの多様な主体による協働・共創の取組が必要不可欠です。
- ・地域活動の拠点であるコミュニティセンターの老朽化が進行し、適切な維持管理や整備が必要です。
- ・本市の外国人住民は増加傾向にあり、その国籍も多様化している中、民俗や文化の違いを認め合い、安心して暮らし、共に鹿沼の未来を創ることを目指す多文化共生の地域づくりが求められます。
- ・活発に行われている地域活動や市民活動の現状を踏まえ、令和8年4月1日からコミュニティセンターなどをより柔軟にかつ幅広く活用ができるよう、貸出基準の見直しを行いました。

自治会加入率の推移（％）



出典：鹿沼市調べ

市内外国人住民数と割合の推移



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・地域課題解決に向けた、新たな「地域への支援事業」の構築
- ・地域における若者の社会参加促進や多様な主体の連携推進
- ・地域活動の拠点であるコミュニティセンターの整備及び効率的な運営による活用拡大
- ・市民活動団体の活性化及び中間支援機関の機能強化の支援
- ・多文化共生社会の構築に向けた国際理解講座や日本語教室の実施と外国人住民の地域での活躍促進
- ・地域コミュニティの核である自治会への支援

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	地域コミュニティ支援事業取組数	件	—	30
2	コミュニティセンター貸館利用者数	人	208,390	255,000

大項目

3

「誇れるまち」

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 協働のまちづくりの推進	① 地域活動・市民活動への支援及び担い手の育成	・地域課題解決型提案事業への支援 NEW! ・地域や市民団体、事業者等が実施する協働事業への支援 NEW! ・かめま市民活動広場ふらっとの運営及び市民活動における中間支援の充実 ・若者まちづくり人材育成事業「鹿沼かえる組」の活動支援 ・地域ボランティア活動補償制度の運用
	② 地域コミュニティへの運営支援	・自治会連合会及び単位自治会の支援 ・自治会加入促進の取組支援 NEW! ・自治公民館建設等への補助
	③ 多様な主体による協働の推進	・地域とNPO及び企業との連携支援 ・鹿沼市産業経済未来創造懇談会（かめまエコノミーティング）※を通じた協働事業の展開 NEW!
(2) 地域活動拠点の整備	① コミュニティセンターの整備及び機能適正化	・施設の適正な維持管理 ・機能の適正化及び整備方針の策定 ・東大芦コミュニティセンターの整備 NEW!
(3) 多文化共生のまちづくりの推進	① 多文化共生に向けた啓発	・多文化共生講座の開催 ・やさしい日本語※の普及・啓発
	② 外国人住民への支援	・第4期多文化共生プランの策定・推進 ・外国人住民向け一元相談窓口の運営 ・日本語教室の開催支援 ・国際理解講座の実施支援 ・多文化共生ボランティアバンクの活用

用語解説

※自治基本条例：平成24年4月1日に施行した市民自治のルールを明記した市民手作りの条例。まちづくりの原則や仕組みを定め、市民、市、議会の役割及び責任を明確にしたもの。

※鹿沼市産業経済未来創造懇談会（かめまエコノミーティング）：産業界、金融界、行政が連携し、それぞれが本市の経済成長や産業振興、鹿沼をもっといいまちにするためのアイデアや意見を出し合い、協働・共創によるまちづくりを推進するために設置されたもの。

※やさしい日本語：日本語を母語としない方や日本語に不慣れな方にも伝わりやすいよう工夫された日本語。

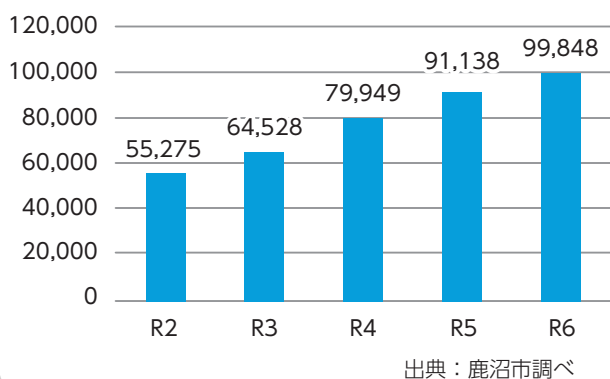
関連 SDGs



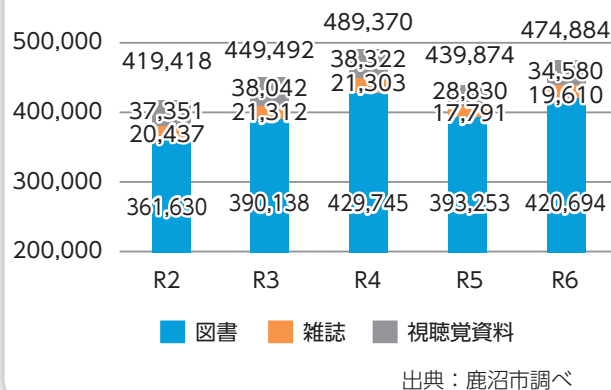
現状と課題

- ・「人生100年時代」が到来し、生涯を通じた学習活動の支援が求められています。
- ・地域課題の解決に向けた取組や現代社会の課題などについて、学ぶ機会と場の確保が必要です。
- ・若者の地域への関心が希薄化している中、青少年の社会参加意識の高揚と地域の連帯感を深めることが重要です。
- ・市民情報センターや自然体験交流センターの老朽化に伴う、適切な維持管理が求められています。
- ・急激に変化する時代、特にデジタル化が進む中で、生活に必要な資質・能力を育む読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書推進は不可欠と言われています。

鹿沼市民情報センター利用者数（人）



図書資料貸出点数（点）



重点施策

- ・拠点駅周辺における高校生等の学習スペースの整備
- ・自然体験交流センターや市民情報センター等の活用促進
- ・かめま生涯学習大学※の充実と、生涯学習総合情報の発信強化
- ・青少年育成団体との連携による小中高生等の自主的な社会参画活動の支援
- ・若者の社会参加と地域活動の支援
- ・図書館3館の特色を生かした読書活動の展開と、コミュニティセンター等の貸出文庫の充実による利用促進
- ・こどもたちの読書活動の活性化を目指す、市立図書館と学校図書館の連携促進

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	生涯学習総合情報誌掲載講座延べ受講者数	人	5,731	10,000
2	図書館来館者数（3館合計）	人	231,361	231,900

★ 施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 多種多様な学びの機会と活動の場の提供	① かぬま生涯学習大学の運営	・かぬまマイ・カレッジ講座の支援 ・生涯学習総合情報誌等による情報発信支援の拡充 ・出前講座の活用促進 ・学びフェスティバルの充実
	② 学びの循環の推進	・自発的・主体的学習機会の提供 ・学習成果を生かせる場の提供 ・まちかど先生・講師情報の活用促進 ・家庭教育の支援
	③ 学びの場の提供	・駅前学習スペースの確保 NEW! ・市民情報センターの計画的な維持補修 ・文化活動交流館及び自然体験交流センターの活用促進
(2) 青少年の健全育成の推進	① 青少年健全育成活動の推進	・青少年健全育成事業実施団体の支援
(3) 若者の活躍支援	① 若者の社会参画事業等の支援	・鹿沼市20祭実行委員会※、kavy ※等の自主的な活動への支援 ・若者まちづくり人材育成事業「鹿沼かえる組」の活動支援【再掲】 ・高等学校が実施する課題解決型学習プログラムの支援 ・中高生のボランティア活動支援
(4) 読書環境の充実	① 読書の推進	・各種団体と連携した読書推進活動の促進 ・市立図書館と学校図書館との連携強化 ・図書館システムの更新
	② 図書館の環境整備	・快適な読書及び学習環境の提供 ・計画的な設備・機器の改修・更新

大項目

3

「誇れるまち」

用語解説

※かぬま生涯学習大学：生涯を通して自由に学び、自己の能力を最大限に発揮し、その学習成果を地域や職業、生活の中で生かすことを支援するために開学した、仮想市民大学。

※鹿沼市20祭実行委員会：毎年20歳の人を中心に、1年後輩の19歳の人、過去に20祭に携わったOB・OGの人で構成されている「鹿沼市20祭（20歳を祝う会）」を実施するための組織。

※kavy：自ら学び、自らボランティア活動へ参画することを目的とした団体。小学校5年生から20代までのメンバーが、市の各種イベント等にスタッフや活動サポーターとして参画している。

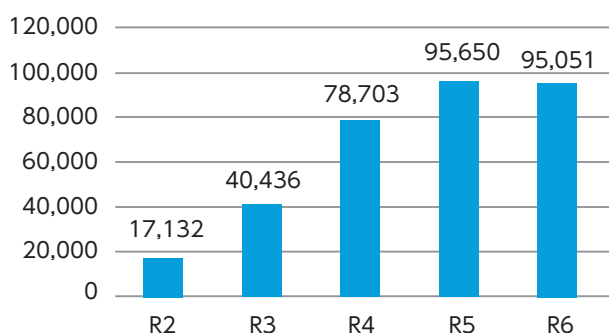
関連 SDGs



現状と課題

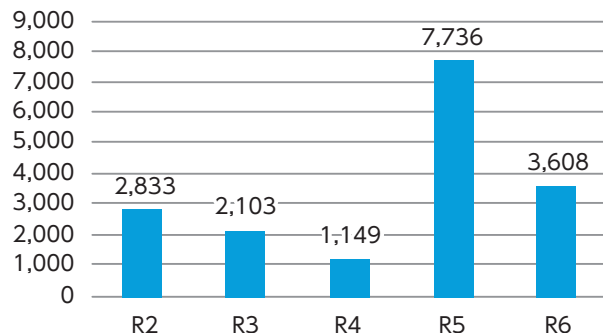
- ・本市では、市民が主体となった多種多様な文化芸術活動が展開されています。
- ・人口減少や少子高齢化の進行により、市民の文化芸術活動や地域の伝統文化等文化財の保存継承が難しい状況です。
- ・こどもたちに伝統文化や芸術に触れる機会を提供し、その体験や交流を通して、豊かな人間性のかん養を図り、文化芸術に関わる人材を育成する必要があります。
- ・市民との協働により、地域資源の掘り起こしや価値の再発見を行い、歴史や文化に関わる地域資源の適切な保護継承の仕組みづくりを行う必要があります。
- ・地域のコミュニティ活動や学校教育、観光など様々な分野で文化財を含む地域資源の活用を図る必要があります。

市民文化センター利用者数（人）



出典：鹿沼市調べ

鹿沼まると博物館事業参加者数（人）



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・「鹿沼ルネサンス構想※」の策定による、市民の文化芸術活動の支援や、歴史や文化に関わる地域資源の保存、地域活性化のための活用拡大
- ・民俗文化財を含む地域伝統行事等の後継者育成などによる保護・継承を促進
- ・文化芸術活動の拠点である市民文化センターの再整備計画の策定
- ・協働・共創による「鹿沼まると博物館※」の取組推進

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	市民文化祭の参加者数	人	5,313	6,842
2	川上澄生美術館来場者数	人	15,702	16,200
3	まると博物館事業の参加者数	人	3,608	5,129

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 文化芸術を活用した地域づくりの推進	① 鹿沼ルネサンス構想の推進	・ 地域における文化観光の推進 NEW! ・ 地域への誇りと愛着の醸成 ・ 文化ゾーンの活用促進
	② 地域の文化を生かすまちづくりの推進	・ 地域の文化芸術団体への活動支援 ・ アートによるまちづくりの推進
(2) 文化芸術活動の充実	① 文化芸術や伝統文化の推進	・ 市民団体への継続的な支援
	② 文化活動施設の利用促進	・ 市民文化センター再整備計画の策定 NEW! ・ 川上澄生美術館及び文化活動交流館の計画的な維持補修と利活用推進
(3) 文化財の保存と活用	① 文化財保護の推進	・ 文化財の調査・指定・保護 ・ 地域伝統文化の継承者育成支援 ・ 歴史文化資源等の調査・整理及び保存
	② 「鹿沼まるごと博物館」の推進	・ 市民学芸員の養成と協働事業の拡充 ・ 地域や市民、他分野と連携した企画展・各種講座などの実施 ・ 中央館の整備検討 NEW!

用語解説

※鹿沼ルネサンス構想：市内の歴史・文化芸術分野の様々な資源を活用して、地域への誇りと愛着を醸成し、一人ひとりの豊かな心を育み、さらに未来に向けた新たな地域づくりにつなげることを目的とした構想。

※鹿沼まるごと博物館：市域全体を博物館と捉え、市民との協働により、地域資源の調査収集から公開活用まで、一連の博物館活動を展開する取組。

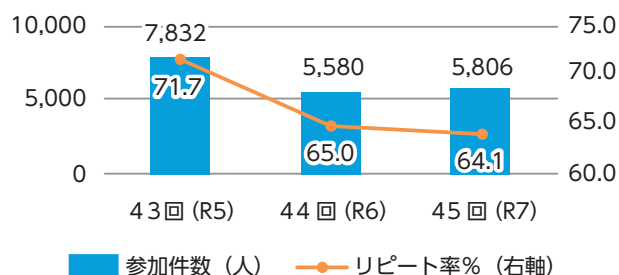
関連 SDGs



現状と課題

- ・日常的に仕事や家事、遊びなどで身体を動かすことは、スポーツではありませんが、健康維持の効果が認められる身体活動であり、各自がこの広い意味での身体活動量をしっかり把握することが大切と言われています。
- ・幼少期に遊びの中で体を動かすことは、生涯にわたる運動習慣形成に重要な影響を及ぼすとされ、全ての世代での身体活動への取組は、交流の広がりによる様々な効果が期待されます。
- ・スポーツ施設は老朽化が進み、計画的な修繕や更新を必要とする施設が増えています。

鹿沼さつきマラソン大会参加者数と
リピート率の推移



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・官学連携の新たな身体活動による健康増進プログラムの構築と展開
- ・今日の愉しみと将来の健康を目的とした、幼児期・児童期からの運動習慣の形成促進
- ・市民が身近な場所で永く身体活動を続けられるよう、スポーツ団体の活動と人材育成の支援
- ・「鹿沼さつきマラソン大会」等、内容充実と魅力の向上による、リピーターの拡大推進と市民との交流促進
- ・鹿沼運動公園や自然の森総合公園等、スポーツ施設の計画的な更新

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	身体活動習慣者の増加	%	—	35.0
2	スポーツ施設稼働率	%	68.0	71.0

★ 施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) ライフステージに応じた身体活動の推進	① 身体活動の促進	・ 幼児・児童の保護者への運動遊びの普及 ・ 指導者の育成支援 ・ 身体活動の認識変化による生活活動の価値向上 NEW! ・ 官学連携による健康増進プログラムの構築と展開【再掲】 NEW!
	② スポーツ活動の充実	・ スポーツ関連団体への支援 ・ スポーツ少年団などの組織強化 ・ 学校開放事業
(2) スポーツ系事業を通じた人的交流の促進	① スポーツ系事業の充実	・ 鹿沼さつきマラソン大会の充実 ・ 外部講師を活用した身体活動機会の充実 ・ 平野早矢香杯卓球大会など、各種スポーツ大会の支援 ・ コミュニティゴルフの普及支援 NEW!
(3) スポーツ環境の整備	① スポーツ施設の整備	・ 計画的なスポーツ施設の維持・補修 ・ 自然の森総合公園サッカー場・フットサルコートの改修 NEW! ・ 鹿沼運動公園の再整備

関連 SDGs

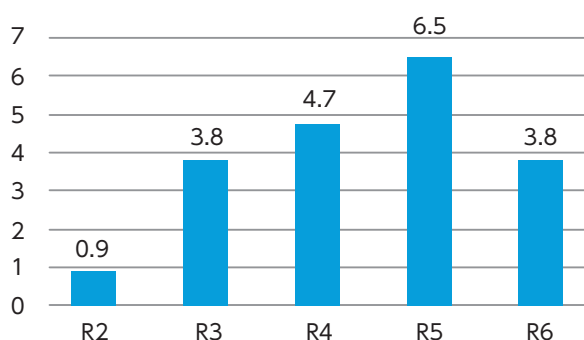


鹿沼運動公園陸上競技場

現状と課題

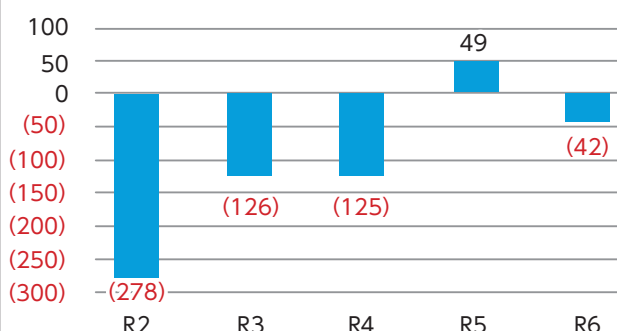
- ・地方から東京圏を中心とした都市部への人口流出が続き、特に若い世代の転出が目立つため、地域や生産現場での人員不足が深刻化しています。
- ・人口の自然増や社会増が困難な中、地域活性化に重要な交流人口や関係人口の増加に力を入れる必要があります。
- ・鹿沼市をブランディングし市外に向けてプロモーションを行うことで交流人口や関係人口等の増加を図っていますが、市外・県外に向けて魅力的な鹿沼市像をまだ十分に発信できていない状況であり、ふるさと納税寄附額についても変動が大きくなっています。
- ・本市には「ひと」「もの」「技術」「文化」などの素晴らしい誇れる「Made in 鹿沼」の資源が沢山あり、これまでも「かぬまブランド」認定などにより情報発信してきました。それらを市民の皆さんに認識してもらい、一人ひとりの市に対する誇りや愛着心を育てていく必要があります。

ふるさと納税寄附額（億円）



出典：鹿沼市調べ

社会動態（人）



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・交流人口と関係人口の増加を目指す「Made in 鹿沼」のブランディングとプロモーションの実施
- ・本市の認知度の向上と本市への投資の呼び込みを目指し、東京サテライトオフィスの設置と活用
- ・ふるさと納税増額とリピーター獲得に向けた返礼品の拡充、情報発信の強化、寄附者との関係性の構築
- ・本市出身の若い世代が帰ってきたい・住み続けたいと思えるためのシビックプライド※醸成の仕組みづくり
- ・市内で暮らし働く地域の担い手呼び込むための官民連携の移住定住支援策の展開

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	ふるさと納税額	億円	3.8	10
2	社会動態※	人	△ 42	± 0

大項目

3

「誇れるまち」

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 魅力発信の推進	① アウタープロモーション※の推進	・シティプロモーションガイドラインの改定 ・「Made in 鹿沼」のプロモーション NEW! ・「かめまブランド」認定制度の新たな展開 ・東京サテライトオフィスを拠点とした営業活動 NEW! ・ホームページやSNSなど各種メディアの特性を生かした効果的な情報発信
(2) シビックプライドの醸成	① インナープロモーション※の推進	・「Made in 鹿沼」の“発見・共有”の仕組みづくり NEW!
(3) ふるさと納税の強化	① 寄附の獲得拡大	・新規返礼品の開拓及び既存返礼品の拡充 ・クラウドファンディングの拡充 ・寄附を通じた関係人口の創出
(4) 移住定住の促進	① 移住定住事業の強化	・新たな移住・定住促進戦略の策定 NEW! ・市内企業と連携した移住者支援の充実 ・移住者交流サロンを活用したニーズ調査の実施 ・民間企業と連携した新卒者就職祝金 ・いちご市 KANUMA サポートーズとの連携による定住支援
	② 地域とのマッチング促進	・住まい・仕事に関する交流サロン・ツアーの開催 NEW! ・地域おこし協力隊等の外部人材の活用

用語解説

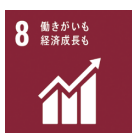
※シビックプライド：住民が自分たちが住む地域や都市に対して抱く「誇り」や「愛着」。

※社会動態：人口の移動によって生じる人口の変化。1年間の転入者数と転出者数の差で示される。

※アウタープロモーション：自治体地域の「外」に向けて、当該自治体の特徴を宣伝・広告していく活動。

※インナープロモーション：地域住民や市内事業者等の「内部」の人々に対してまちの魅力や取組の価値を伝え、地域の愛着心やシビックプライドを高める活動。

関連 SDGs





私の好きな鹿沼・栗野フォトコンテスト入賞作品



シウマイ像